

科目名 **コミュニケーション英語Ⅱ**

普通科
2年次・4単位

- 目 標
- ・日常的・社会的話題について、話される速さや使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話や文章の展開・話し手や書き手の意図、概要や要点などを目的に応じて捉えることができる。(聞くこと・読むこと)
 - ・日常的・社会的話題について、使用される語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用い、情報や考え、気持ちなどを論理的に詳しく話して伝えることができる。(話すこと[やりとり・発表])
 - ・日常的・社会的話題について、使用される語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落からなる文章で詳しく書いて伝えることができる(書くこと)

位 置 昨年履修した「コミュニケーション英語Ⅰ」の学習を踏まえ、5つの領域別の言語活動や複数の領
づ け 域を結びつけた統合的な言語活動を発展的に行う科目である。

■使用する教材

- ・ Landmark English Communication Ⅱ (啓林館)
- ・ 必携英単語 Leap (数研出版)
- ・ 総合英語 be 4th Edition (いいずな書店)

■学習する単元とおおよその時期

- ・ Lesson1 異文化理解・日本文化に関する文【4～5月】
- ・ Lesson2 動物・環境に関する文【5月】
- ・ Lesson3 職業・日本文化に関する文【6月】
- ・ Reading1 文学・人間愛に関する文【6月】
- ・ Lesson4 環境・職業観に関する文【6月】
- ・ Lesson5 言語・歴史に関する文【7～8月】
- ・ Lesson6 芸術・生き方に関する文【9月】
- ・ Lesson7 平和・家族愛に関する文【9～10月】
- ・ Lesson8 歴史・環境に関する文【10月】
- ・ Lesson9 環境・生き方に関する文【11月】
- ・ Lesson10 科学・共生に関する文【12～1月】
- ・ Reading2 ジェンダー・共生に関する文【2月】

■授業の流れ、予習・復習を含めた学習方法

- ・ 教材テキスト内容を5領域を駆使し把握する
- ・ 把握した内容を適切な語句で口頭により伝える
- ・ 英単語の小テストを行う【通年】

■観点別評価について

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	A ・英語の仕組みや言葉の働きについて理解を深めている。 ・コミュニケーションにおいて5領域を用い、適切に活用できる技能を身につけている。	・コミュニケーションにおいて話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、表現したり伝え合ったりしている	・言語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的・自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
	B ・英語の仕組みや言葉の働きについて理解している。	・コミュニケーションにおいて話し手や書き手の意図などがある程度理解している。	・言語の背景にある文化を理解し、コミュニケーションを図ろうとしている。
	C 上記が達成できていない	上記が達成できていない	上記が達成できていない
評価の場面	定期考査、単元テスト 小テスト 課題の提出内容	定期考査、単元テスト 授業中の発言内容	授業中の参加態度 課題の提出状況

